

広報

# のあさひ

No.367

'87

6/15

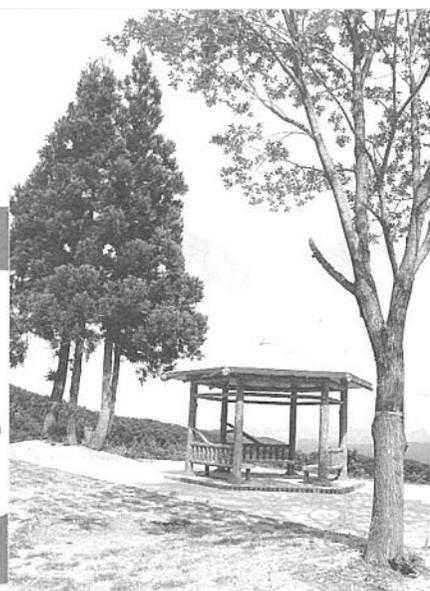


「ジャンプ！」自己への挑戦

腕にケガをしながらも大会新を  
記録した大谷小の鈴木和志くん  
(5/29 町小学校陸上大会走幅とび)

ワー  
ハートを

# 旅行村



芝生広場のあずまや

オープンまであと800日

## ブルドーザーの音も高らかに

### 整備二年目の家族旅行村

家族旅行村の整備工事が開始されて、二年目。六十四年秋にオープンをめざし、冬場のメインとなるスキー場を中心とした本格的工事が進められています。

旅行村の建設については、町政座談会でも多くの質問や意見が出され、町民の皆さんの関心が高まっています。今月はこれらの質問内容をふまえ、家族旅行村の姿をさまざまな角度からとらえてみましょう。

### 自然はわたしたちの財産

地域の活性化を考える場合、いろいろな指標がありますが、一般的なものとして人口があります。人口数と人口構成を見れば、ある程度の地域の置かれている課題が予想できます。端的には人口の高齢化問題、逆の言い方をす

れば若年労働者の減少問題がそこに表れてきます。

わが町の場合は、若者の定着率が低く、依然、人口数は微減をたどっています。人口構成では、五十歳以上の人口が多くを占め、二十歳から三十歳代は下層にいくにつれて減少し、典型的な高齢化社会の様相を形づくっています。

若者の定着なくして、将来の町の発展は望めません。若者の定住対策をすすめるため、町では後継者対策協議会などを

設置して、これまで行政の分野でなかった「結婚」対策までも取り組んでいます。

若年層が流出する原因としては、雇用の場が少ないことが主として上げられ、若い人たちの希望職種としては、サービス業が圧倒的に多くなっています。ただ、第三次産業は人々の往来や人口の集積がなければ、容易に成り立ちません。

若者の定住をすすめる条件として、雇用の場とともに、自分の住んでいるところに、他へ誇れるものがあるということ、愛町心を育て定住への意識を促します。

都市と比較して優位なもの、**「日本人のふるさと」**

# 家

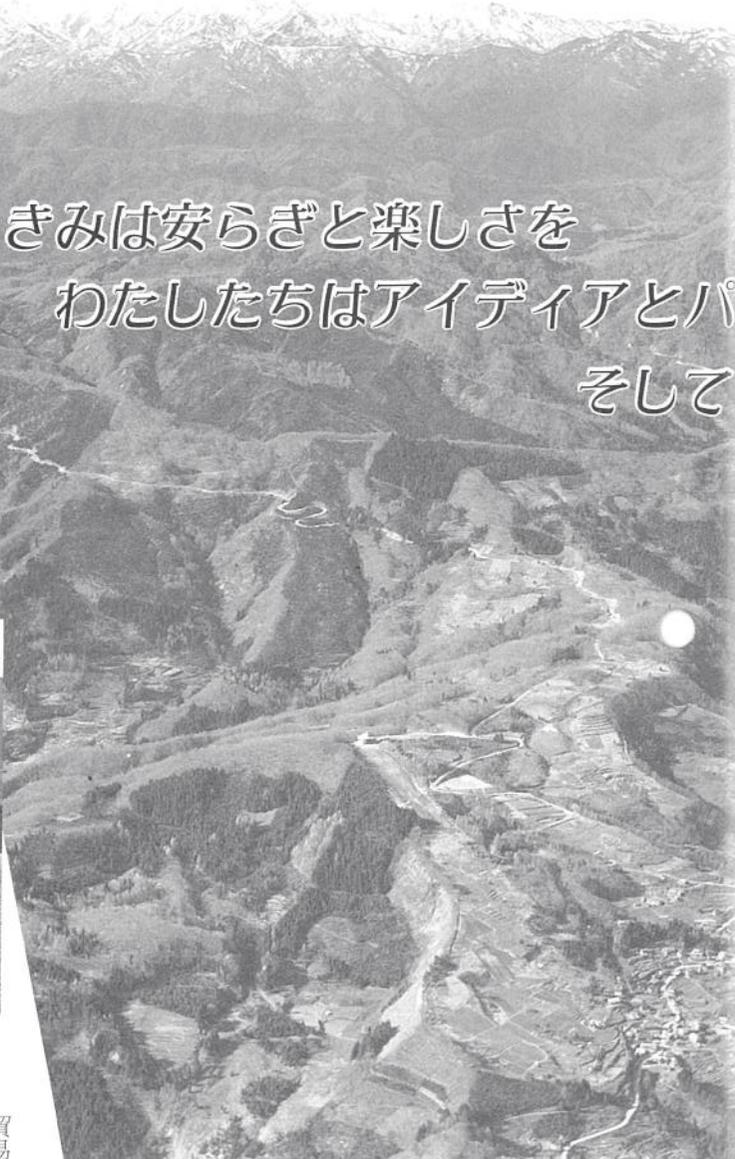
きみは安らぎと楽しさを

わたしたちはアイデアとパ

そして



造成中のゲレンデからロジシラくら方向の風景



としての自然環境や  
風土以外に地方には

何もない、と言っても過言  
ではないでしょう。

## 人間性回復のための空間づくり

日本人は勤勉で、  
労働時間が長く、貯  
蓄率も高いと言われ  
ます。これは国内だ  
けで考えれば美徳な  
ことですが、国際間  
での話題となると、  
必ずしも正しいと言  
えないところに、加  
工産業を中心とする、  
輸出国としての日本  
の立場があります。

ネ重視から心とゆとりの充  
実へ、生活の質の転換がは  
かられています。そして都  
市部の過密化が依然続いて  
いく中で、都市機能や構造  
からくる疎外感によって生  
じる、自然や郷愁への欲求  
に対応した、人間性を回復  
するための自然や空間の整  
備・開発が、内需拡大の主  
要な分野として注目されて  
います。

貿易収支の不均衡から、諸  
外国からは輸出货量を自主規  
制して、内需拡大による景  
気拡大をはかれ、と脅かし  
に近い要求をされています。  
このような中で、労働時  
間の短縮による余暇時間の  
増加とその活用、モノ・カ

これらの大きな視野に  
立って、旅行村整備の必要  
性を考えていますが、条件  
整備には数多くの課題があ  
り、地理的条件、少ない財  
源、人材などを有機的に結  
び付け、課題の解決をはか  
る必要があります。

## 有利な制度、起債を活用

町政座談会においても、  
多くのかたがたが心配して  
おられた財源の問題ですが、  
施策を実行に移す場合、特

に事業能力、企画能力、人  
材が問われます。大都市、  
中規模都市では、大企業な  
どの民間の活力が期待でき

ますが、農山村では自治体、農協、商工会などが主体とならざるを得ません。つまり、行政活力をもって、民間活力の役割と誘発を促す必要があります。

自治体を取り組むとなれば、当然住民の意志が反映されなければなりません。ただ観光産業としての旅行村事業は、これまでの社会资本(公共財産)の整備と違った性格をもっており、町民のワクを越えた施設の

利用を考える必要があります。

また、これらの財政的裏付けは、依然、国や県の有利な補助制度や起債に頼らざるを得ませんが、国、県から全額が交付される制度はなく、他事業との関連性を考え、開村までは優先的に事業がすすめられるよう働きかけ、一般財源の充当もある程度考えなければなりません。

## 道路は依然、大きな問題

以前から、まちづくりの主役は「道路行政」です。

道路問題を解決することが、町の発展につながり、それだけにまた、道路の整備に大きな投資が必要です。

このたび打ち出された国の第四次全国総合開発基本計画(四全総)では、都市と地方の交流を図るため、高速交通網の整備が大きな柱となっていますが、依然「都市と地方」という考え方の中で、それから通じる末端の「地方」内での道路

の整備は、ゆるやかな足どりとなつていきます。

近い将来には大型バスが交互に通行できる道路が整備されますが、当面、冬期間における交通対策に重点を置きながら、道路整備をすすめています。

家族旅行村までの道路は町道白倉線の改良が急務です。現在、立木橋から白倉のロッジまでの町道部分は二、〇九〇m。林道は八三〇m。全線について急カーブ、狭い箇所調査測量を

行い、補助、起債事業により改良する計画です。

立木橋から白倉橋の立木集落内は、県道白滝宮宿線を基本に、県事業による改良を要望しています。

## 工夫とアイディアで

旅行村を開設するにあたって、利用者の数は当然収益にはねかえることになりませんが、具体的な数値として、既存の白倉スキー場を参考にして考えて見たいと思います。

完成後の旅行村施設の管理運営費は、現在、運営計画を策定中ですが、最低、年間一億円前後はかかるかと推計されます。現在の白倉スキー場の年間利用者は約二万人で、スキーリフト及び売店の利用者一人あたり売上は千四百円前後ですから、施設の拡大・充実に

より、利用客一人あたりの消費額は若干上昇するものと思われ、年間七万人から八万人を確保することが必要になるでしょう。スキー場の拡大、宿泊施設、そのほかの

地域産業の長期的な展望として、農業においては労働力の高齢化、販売価格の低迷、農産物の輸入拡大な

## 旅行村に期待するもの

関連施設の整備により、通年の利用ができるので宿泊、飲食、物品販売に工夫を凝らしていけば、これらの目標は達成される見通しです。

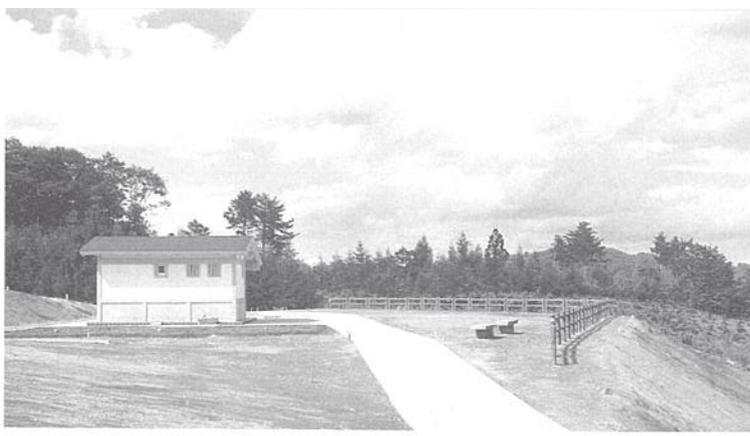
どのようして低落傾向にあります。また建設・製造業についても公共依存型、加工生産部門が多く、国内外情勢による構造の転換が迫られてくるでしょう。当然勤労者の所得にも影響が生じ、地域経済は低迷が予想されます。すでに国内においては、



ピの宝庫



造成中のゲレンデ、中央部



完成まぢかの芝生広場（入口付近、建物はトイレ施設）

北海道の農業の「地盤沈下」がおこっており、製鉄、造船、炭鉱における、構造的な不況業種を抱える佐世保、釜石、室蘭などの自治体は特に深刻な状況で、失業、転職による人口の流出が急増しています。

地域経済の立て直しをはかるには、従来の産業をテコ入れするだけにとどまらず、新たな需要を自ら呼び

込む条件を、地域の方からつくっていくことが必要です。木炭商が石油・プロパンガス商に、「つけ木」がマッチになりライターになったと同じように、時代的な生活の悪化に対応することは自らを変化させていくことです。

具体的には、町民が他に對して誇れるものがあること。町外からの人々の往来により経済交流がはかられること。相乗効果としての産業創出が可能となること。

## 将来の大きな財産に

今、スキー場となる町有地、一〇畝の造成工事が進められています。さらに管理舎、キャンプ場の洗い場、便所が建てられます。今年には内需拡大による国の大型補正が予想され、これを受けて旅行村内の大型駐車場の整備を行う計画です。

造成地は、冬期間は中・上級用の千坪のゲレンデ、夏期間は山菜・高冷地野菜の畑地となり、利用面においては体験農場などの活用



白倉はワラ

産物の新たな販売、利用ができること。雇用の拡大がはかれること、などです。過疎とは、単に人口が減少することだけを言うのではありません。心身とも活力に欠け、ものごとを肯定的にとらえることができなくなつた地域をさします。

が期待されます。また、コテージ村周辺に建てられる管理舎は、倉庫機能のほか喫茶、軽食を提供できる機能をもつ、ハイセンスな建物を計画しています。

今年度の事業費総額は約二億円程度になる見込みで、財政的にも厳しい昨今ですが、内需拡大を反映し金利も最低、補助事業の割当ても計画以上で、整備するには絶好のチャンスです。この機会に家族旅行村を柱と

した将来のまちづくりに取り組むことは、後世への大きな財産を残すことです。多くのかたから、「財産」が「借金」になるのでは、と

## みんなが「町のセールスマン」

旅行村の整備に多額の資金を投資することは、それなりに地域に対しての経済効果がありますが、整備された施設が計画どおり機能して、はじめて本来の効果が表れることとなります。

施設を維持する人も利用する人も、みな人間です。特に「お客様」をよんで、サービスを提供するわけですから、旅行村で働く人ももちろん、町民みんなが「町の宣伝マン」として話題を広め、アイディアを出し合つて、喜ばれる土産品などの特産品づくりや、都会から求めにやってくる「心

の心配の声も出ています。その財産が良か不良かを問うことは、事業の是非を問うことです。課題をひとつひとつ解決しながら、できるだけ町民の皆さんの負担を少なくし、「良」としての財産になるよう、先見の目をもって、整備に努めていきます。

の安らぎ」の場を、つくり出していかなければなりません。

維持管理については、三ヶ月号でもお知らせしましたが、管理運営等検討委員会の答申を基礎として、最良の方法を検討しています。

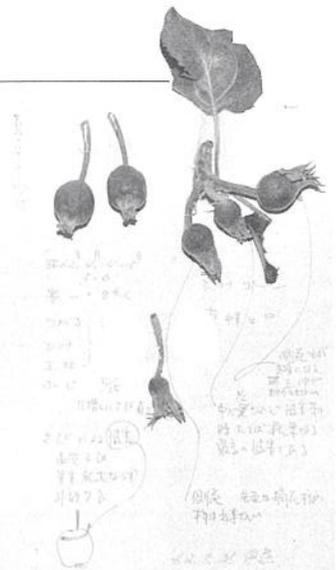
今後おりにふれ、旅行村に関する話題や事業の進行状況をお知らせいたしますが、町民の皆さんの知恵と力を出し合い、「温かい手のぬくもりが目玉」の旅行村になるよう、皆様の御理解と御協力を重ねてお願いいたします。

（家族旅行村対策室）

# 果樹に霜と低温のダブルパンチ

5/26

## 異常気象災害対策本部を設置



被害のあったリンゴの小さな果実  
五月二十六日に「朝日町異常気象災害対策本部」を役場の産業課内に設置しました。

異常気象による四月、五月の低温と降雪は、町内の農作物に相当の被害を及ぼしています。  
その中で四月十四、十五日の低温では、和合の平地区を中心にふくらみかけたリンゴの実に、また五月五日、六日の降雪では桑、リンゴ、柿、ブドウなど、合わせて約三百六十ヘクタールに被害を確認。収穫期予想での被害総額は一億七千万円にもぼると推計しています。

この対応策として、営農

指導体制を強化するとともに、今後の異常気象による農作物への被害を未然に防止するため、五月二十六日に「朝日町異常気象災害対策本部」を役場の産業課内に設置しました。  
対策本部では役場、農協はもとより農業関係機関と緊密な連絡調整をとり、被害防止のための広報活動の徹底、技術指導体制の強化を図りながら、秋の収穫期まで、農作物への災害対策に万全を期していくことにしています。  
今後、被害にあわれたら直ちに、役場産業課農政係（☎六七二二一一一内線二四二）までご連絡ください。

## 働く場の環境整備を ともに進めよう

### 企業経営者と町議の懇談会

町政の運営者である町議会議員のかたに、町内企業の実情を理解していただき、立場を越えてともに地場産業の振興に取り組もうと、朝日町工業振興協議会（阿部宗一郎会長・構成企業十社）が主催する町議との懇談会が五月十九日、役場で開かれました。  
席上、あいさつに立った阿部会長は「円高不況というが、企業経営は一年中厳しくまさに戦争。そこで生き残れるかは、経営者としての判断・能力が大きなカギとなる。本町



各企業の経営紹介が行われた

は農業を基盤として工業社会が成り立っているが、町内のある企業では、技術開発などの努力により、リンゴ生産額に匹敵する生産額を上げているところもある。高齢化社会の進行や貿易不均衡による中小企業へのしわよせは、地元企業にも大きく影響するが、今後も地場産業の振興と労働環境の整備に、ともに力を出し合おう」と呼びかけました。  
続いて各企業から経営内容の紹介があった後、町議会と企業との協調活動を通して町づくりについて、活発な意見の交換が行なわれました。



火点は前方の赤旗

## 和合自動車班に 紫紺の優勝旗 消防操法審査会

気温三〇度を越す真夏日となった六月七日（日）、恒例の消防操法審査会が和合の果樹流通センター広場で行なわれました。  
実際に放水しての審査会は、県内でも唯一朝日町だけ。操法の技術レベルもトップクラスで、十七ある各部の代表チームは、この日に向け訓練に励んできた成果を十二分に発揮。今年から最優秀チームに優勝旗も用意され、審査の結果、一分団三部の和合自動車班が紫



も早く

町政座談会

## 町民の声をまちづくりへ 47会場で活発な討論

町政の理解を深め、住みよい町づくりのための意見を交換し合う町政座談会が、5月8日から21日まで連夜にわたり、自治公民館など町内47の会場で開かれました。

町側は小林町長をはじめ三役らが班長となり、各課長らを班員とする五つの班を編成し、54全区を訪問。夜のくつろぎたい時間をさいて会場に集った参加者は、2年目を迎えた町の一大事業である家族旅行村や、区の当面する道路整備などの課題について活発な意見の交換を行いました。

町では、これらの具体的な町民の声をまとめ、全体検討会で今後の対応を話し合い、住みよい町づくりに生かしていくことにしています。



熱心な討論が行われた(雪谷区での座談会風景)

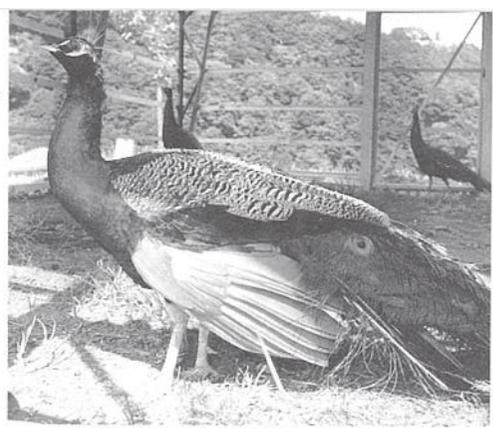
同センターでは、活動の新しい仲間を募集しています。薬草や山菜の栽培、養魚に興味のあるかた、木工や民芸品製作などの特技を發揮されたいかた、ゲートボールの腕をみがきたいかたなど、いつでもご自由に参加ください。

年会費は五百円。電話での申し込み、問い合わせは同センター事務室 ☎ 六七二四九まで。

### 新会員募集!

各部会の売上総額は約百九十万円。薬草や健康茶、ヤマメ、ハヤ、キノコ、カタクリ、リンドウの切花、そして床置や民芸品など、自らの生きがいづくりとともに、特技を生かした多様な製品開発と販売も展開しています。

今年設置された特産部会では、シルクのダイヤモンドと呼ばれる「天蚕」の研究に着手。さらにカモアヒルやクジャクの飼育を手がけるなど、新たな特産品の開発に意欲を見せています。



三羽のクジャク (長井市の五十鈴建材株式会社 五十嵐栄造氏から寄贈)

## 新たに 特産部会を設置

### 天蚕・クジャクの飼育に挑戦

高齢者生産活動センター

高齢者生産活動センターの運営協議会が五月二十六日、同センターで開かれ、生産活動の部門に新たに特産部会を設置するなど、新年度の積極的な事業展開について話し合いました。

昨年度の利用状況を見ますと、利用者総数は一八、

一六九人と前年度より七六五人増加、使用料収入が四百十四万八千六百円と約十八万円伸びています。また生産活動については七部会に一六六人の会員が加入、年間一九一日の活動日数で延べ二、〇五五人の参加状況となっています。

紺の優勝旗を手にしました。成績は次のとおりです。

- 小型/金賞 二分団の四部(夏草)・三の四(栗木沢)・三の二(滝の沢)

- 銀賞 三の一(粧坂)・二の五(松程)・一の一(助ノ巻)・二の一(曲淵)・三の三(大沼)・一の二(四ノ沢)・一の四(古楨)・二の六(大舟木)・一の三(和合)・二の三(八ツ沼)・二の二(立木)・二の三(高田)
- 積載車/金賞 一の四(送橋)・三の二(大暮山)
- 銀賞 一の六(上郷)・二の一(太郎)
- 自動車/金賞 一の一(宮宿)・一の三(和合)
- 銅賞 二の四(常盤)



操作ははじめ!



風より

東京在住

## 「朝日・女性のつどい」 などを計画

### 期待される後継者対策

町の将来を担う青年たちの結婚対策に取り組んでいる、後継者対策協議会(会長 小林町長)の総会が、五月三十一日に役場で開かれ、新年度の事業計画などを協議しました。

この協議会は昭和六十年四月に発足。町と農協、商工会が資金を出し合い、区長会、婦人会、青年団などの各団体の代表者と連携し合って、積極的な対策を進めているものです。

これまで、東京での「めぐりあいの会」開催やフィリピンとの国際結婚などを通し、十数組のカップルを誕生させているほか、都会からの雪ん娘スキーツアーや地元若者たちとの交流事業なども定着してきています。

結婚は第二の人生へのスタート(6月の結婚式で)



今年も、国際結婚の花嫁さんを対象とした「生活セミナー」や「船上めぐりあいの会」「アップル&ワインのつどい(めぐりあいの会パートII)」「町出身女性のつどい」などを計画しています。

席上、「都会にいる娘たち

みんなは  
保健婦です

健康な歯は

子どもへの一生の贈り物

小さな歯を一生の贈り物から守ろう

ムシ歯は、国民の九八%までがかかっている、病気の中でも特殊なものです。しかも歯の健康は、身体全体の健康に大きなかわりをもっています。健康な歯でよくかみ、よく食べるこ

とが、健康な成長をとげる土台となります。一生使う永久歯の案内役となる大切な乳歯(子どもの歯)のムシ歯予防について考えてみましょう。

かわいい赤ちゃんに、白い小さな歯が生えはじめ、次第に大きく数も増えていくことは、親としても本当

にうれいしいものです。しかし、三歳ぐらいになると、

ほとんどの子どもがムシ歯

になってしまふのです。朝日町の幼児の歯科健診の結果を見ても、図のように一

歳六か月から二歳、三歳と年齢が高くなるにつれて、

ムシ歯の保有割合が増え、三歳児では百人中八十九人の子どもがムシ歯を持っ

ている状況になっています。「どうせ子どもの歯は生

え代わるから」と言う声も聞かれますが、歯には食

物をかむ、発音を助ける、顔かたちを整える、といった大切な役目があります。

その上、ムシ歯が痛めば食欲も減り、偏食がちになり、その結果ムシ歯の多い子ども

もは、三歳児頃から身長・体重などの発育が悪くなつたり、正しい発音ができなくなつたり、子どもの心身の発育に大きな影響を与え

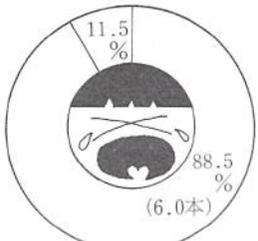
ます。また、ムシ歯は他の病気

と異なり、いったんかかると健康な歯にもどれません。ムシ歯になったら治療すればよいという考えでなく、予防することが大切です。

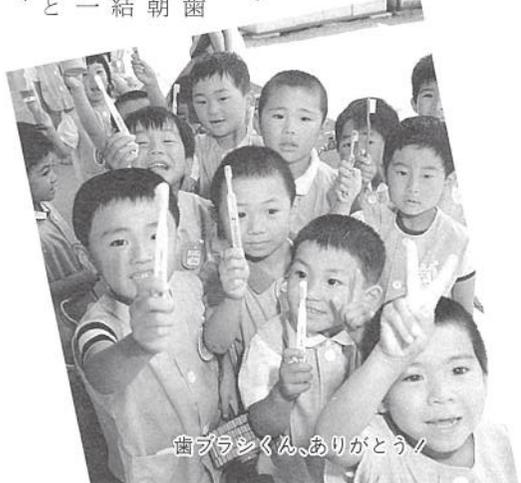
では、予防するにはどんなことに注意すればよいのでしょうか。町立学校の保健医である歯科医の石見先生にお聞きしました。

「生えはじめの歯は、質がやわらかくムシ歯になりやすいし、その上、子どもの歯は進行が早く一度に多くの歯がムシ歯になつたりします。しかし周囲の大人の注意によってムシ歯のない子どもに育てることが

歯科健康診査より)



(3歳児)



歯ブラシくん、ありがとう



受彰者の遠藤さん(左)と阿部さん(右)



このたび退職された  
受彰者の佐藤さん

## 身近な相談役として30年

### 民生児童委員に厚生大臣特別表彰

民生委員制度が発足して今年で七十周年。この記念式典が五月十一日、東京の日本武道館で開かれ、長年民生児童委員として活躍されている遠藤秀治さん(栗木沢・66歳)と阿部恒子さん(大谷四・71歳)のお二人が、厚生大臣特別表彰を

受彰しました。この表彰は、七十周年記念事業の一環として行なわれたもので、社会福祉の向上に尽力されている功績に対し、特別に授与されたもの。お二人とも昭和三十一年から三十年以上にわたって、地域の身近な相談役となつて福祉を支え、民生児童委員協議会の活動も積極的にリードしてきています。また、この春に退職され

た佐藤芳之助さん(小原・69歳)も、このほど厚生大臣の特別表彰を受彰されました。佐藤さんは、昭和三十七年から二十四年にわたり同委員を務められたもので、その間病気などによる生活の困窮家庭や身体に障害をもつかたの援助に献身的に努力するなど、地道な活動の実績をあげられたものです。

先日、町民のみなさんにご協力をお願いし、関東地方在住の町出身者の住所をお知らせいただきましたが、その取りまとめの概要をご報告します。

住所録を提出いただいた件数は、全世帯の半数以上の一、四二六世帯。三、四八六名に及ぶ出身者のかたをご紹介します。

## 関東地方に三、四八六名の「朝日人」

のUターン運動を進めるためにも、広域的な就業の場を「自然にふるさとをふりかえってもらえるような、つどいの開催を」といっ

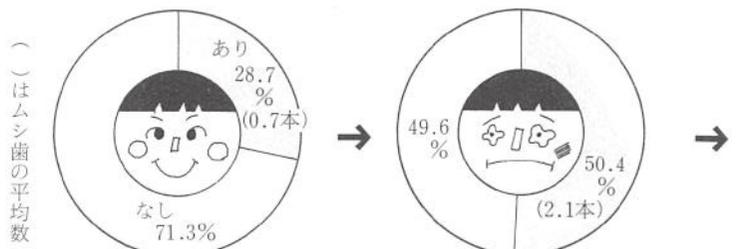
た意見が出され、各団体が連絡をとりあつて、さらに実のあるUターン運動を展開していくことを確認合いました。

町では、プライバシーの保護に特に注意しながら、ふるさとからのお便りの送付とともに、都会での新しい話題や町への提言など、もいただき、町づくりに有効に活用させていくことにしています。

みなさんのご協力に深く感謝いたします。

(事務局/企画課)

## ムシ歯のある子どもの割合 (昭和61年度)



### 〔1歳6か月児〕

①歯がはえはじめたら―水をつけたガーゼで歯の表面の汚れを軽くふいてやる。  
②ミルクや離乳食の後は、歯みがきは、ムシ歯予防の大切な生活習慣です。

### 〔2歳児〕

ムシ歯を予防するために家庭で心がけたいことは、  
①甘いおやつはひかえめにし、時間と量を決めて与える。  
②おいしさを楽しんでからは、すぐにうがい歯みがきをさせる。  
③寝る前の飲食はやめる。  
④歯の定期健診を受けて、もしムシ歯ができていたら早いうちに治すこと、などの注意が必要。  
⑤三才すぎたら―不十分なからひとりで見がくようになりませんが、みがいたら大人はよくほめて、時々口の中を点検してやる必要があります。

湯ざましを与える。  
③一歳のお誕生日を迎えたら―少なくとも朝晩の二回は小さなやわらかい歯ブラシでみがいてやる。  
④二歳がすぎたら―ひとりで歯ブラシをもつてみがく練習をさせる。  
⑤三才すぎたら―不十分なからひとりで見がくようになりませんが、みがいたら大人はよくほめて、時々口の中を点検してやる必要があります。

# つ、じと、び

## 水無月の花だより

5月、6月は1年でもっとも草花の成長する季節。大地の水をいっせいに吸い上げて、野山に色とりどりの花を咲かせ「水のない月」を思わせませう。

5月26日、大谷長寿クラブでは秋葉山公園に、また、6月7日、高校生ボランティアグループの「とちっほ」たちは、路上のグリーンウォークをした後、フラワーポットにそれぞれべに花の種をまきました。

今月はいろんなかたから、花だよりが届きましたのでご紹介します。



▲コンコースに咲くひめさゆり

町の花ひめさゆりが  
空からのお客様をお迎え

町の花ひめさゆりも6月の花。役場前のロータリーの花壇には、淡いピンク色の可れんな姿を見せていましたが、東根市にある山形空港のコンコース(搭乗口通路)にも、鉢植えのひめさゆりが空からのお客様をお迎えしていました。

これは、県の山形空港事務所が空港内ロビーに楽しさと親しみさを増そうと、町の花などの展示を県内に呼びかけたところ、町より早くこの話題を聞きつけた東根市在住の岡村藤三さん(62歳・大町出身・旧姓海野)が、育てていた花植物の中から、ふるさとの花ひめさゆりを提供してくださったものです。

岡田さんからは、昨年もロータリーにひめさゆりの球根を植えていただき、ひめさゆりが、年々たくさん咲き誇るのが本当に楽しみです。



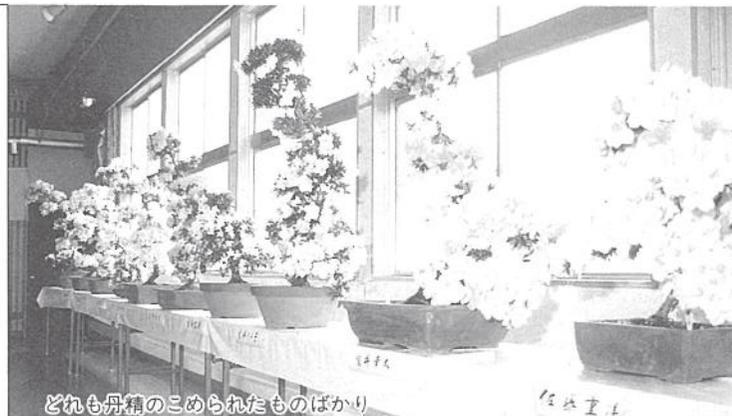
名前のとおり とてもあざやか

## 花の心を おすそわけ

六月三日から七日まで開催された和合のさつき展。

会場の和合公民館を訪ねると初夏を彩る満開のさつきが一面にお出迎え。色とりどりの花を全身に身につつけ、まるであつらえた衣裳のファッションショー。

十年前にできた「和合さつき愛好会」(菅井新次郎会長・



どれも丹精のこめられたものばかり

自然堂

カメラあぐる

3つの

# 花がとりこ



愛らしい畑の花 ひめさゆり



さつきは今が見ごろ

わたしの名前は月下美人<sup>グツカヒジン</sup>といいます



役場玄関に、赤い大きな花が咲き誇り、お客様の足を立ち止まらせていました。

この花の名前は、「アカバナクジャク」というサボテンの仲間で、一般に「月下美人」とも呼ばれています。

役場の「おじさん」佐竹さんが、手入れしていた俗称「金のなる木」（大暮山の故、鈴木千代治さんから善意でいただいたものです）で、送橋小学校で育てていたこの花のさし葉を「買って」？丹念に育てたもの。

その名のとおり、夜明け前につぼみを開く珍しい花で、朝にはもう「お化粧」を整え、役場へ来られたお客様にほほえんでいました。

会員28名)のメンバーが丹精こめて育てた娘たち。七日の夜は講習会。りんご作業の合間に花と対話するのが何よりの楽しみ」と香井イサ子さん。そんな村は、花の香りと育てる喜びでいっぱいでした。

◀手前が小判のような葉の形をした「金のなる木」

# 化は人づくりから

## 実践セミナー」レポート



実践セミナーの研修風景

### 基調講演

## 「地域活性化への発想」

日経新聞論説委員 五十嵐 富英氏

今、地方は人口の高齢化や農業等の産業の停滞などにより、活力を失いつつあると言われています。これを何とかして、生き生きとした活力のあるまちにしよう、全国各地で特色のある「ムラおこし」が展開されています。

このたび、豪雪地帯ながらも先進的なまちづくりを行っている小国町を会場に、全国地域情報センター（事務所・東京千代田区）主催の「ムラおこし、産業おこし実践セミナー」が開催されました。テーマは「地域の活性化をいかに進めるか」。セミナーでの、基調講演や全国各地の実践報告のあらましを、「ムラ」に紹介します。

▼現在ぐらい地域経済が厳しい時代はありません。なぜなら、地域の基幹産業である稲作農業が、食糧制度の行き詰まりなどにより力が弱くなったからです。

そこから言えることは、国の施策、財政に依存するばかりでは駄目だということであるし、地域の基幹産業は各地域により異なったものになるということです。

▼「地域おこし」の例として「一村一品運動」があります。この運動も全国に広まるにつれ、問題を投げかけています。全国的に「一村一品」が作られた結果、漬

け物、民芸品、ワインと、ラベルが違うだけで、似たような物ばかりが生産され、過当競争になっています。

▼しかし、大分県の平松知事が提唱した、この「一村一品運動」で成功している町もあります。「梅・栗植えてハワイに行こう」をキャッチフレーズにした大山町がそうです。ここは国の稲作奨励に逆行し、平野部の農業のまねをしない独自の農業を推しすすめました。

▼「一村一品運動」には次の三つのポイントがあります。

①他のまねをしない。  
②行政に頼らない。

③目的は「人」づくり。

この三つのポイントを、しっかりとつかんでいる大分県の人々は、かえって「一村一品運動」の限界論を喜んでいるかも知れません。

▼大分県には、この「人」づくりをねらいとする学習活動体として「豊の国づくり塾」があり、研修や視察を行いながら人材の育成をすすめています。結局、地域活性化とはこの「人」づくりにあると言えるでしょう。

めざそう！

### 情報の発信基地

▼地域活性化の手段として、情報を上手に活用するということが大事です。「情報化社会」とは「情報に価値がある社会」ということです

が、この情報の流れを、地域が「逆手」にとった活性化の手法もあるのです。

▼例えば山梨県立美術館では、地方の美術館としては破格の二億円を投じ、国際的に有名な画家ミレーの絵を買い付けました。現在では、ミレーの有名な「種を蒔く人」などの絵を鑑賞に、他県から訪れる人たちは年間五十万人といわれます。少なくとも、ミレーの絵に

### ムラおこし 実践報告

## 津山町

### 自前、自給の「木工芸の里」づくり

（宮城県・人口 5,065人）

新しい地場産業の創出に「木工芸の里」づくりを推進。自前で自給可能な杉の間伐材を利用した特産品「矢羽集成材」を開発。トレーや菓子皿、おもちゃなどの製作、さらに化粧柱、杉小径の開発で約4億円を生産。

今、「もくもくハウス」を中心とした「もくもくランド」構想の実現へ、町ぐるみでとりくんでいる。

(メダ) 広報あさひ

とが  
利賀村

世界に向けた演劇祭

(富山県・人口 1,310人)

人が来てくれる村でなければ、地域経済の活性化につながらない、という考えから、武蔵野市や宝仙学園短大(東京)との「都市との交流」を行っている。交流が進むにつれ、村民の意識や感性が高くなり、今では、ただ観光商品をつくるというだけでなく、本当に良いものをつくる、楽しい場を提供するんだという具合に、外に向けた意識に変わっている。

村の野外演劇場では、世界演劇祭が行なわれ、国内はもちろん、アメリカやイギリスなど6か国から、有名な演劇家たちが舞台に登場。開催期間の「観劇客」は13,000人にもなり、村の人口が10倍にもふくれ上がる。



利賀村の「世界演劇祭」の一幕

たの はた  
● 田野畑村

第3セクターによる自力の産業開発  
(岩手県・人口 5,391人)

昭和54年、第3セクター方式による観光開発に着手。「北部陸中海岸観光開発株式会社」を設立し15年目にして、初めて法人税を支払うまでに成長。三陸鉄道も開通後2千万円の黒字に。

観光客は地元で潤いをもたらしてくれる。その金を地元で回転していくために、自力の産業開発が必要。今年は、9億円を投じホテル建設を計画している。

第3セクターは、官・民両方の長所をバランス良く取らなければならない。この方式で成功するには、必ず利益を上げること、運営は民間ですること、が重要なポイントである。

(教育委員会 社会教育係)

# 地域の活性



## 「ムラおこし

開する限り、東京の国立美術館はかきません。

▼このことは、山梨県は「ミレーの絵」という情報の「国際発信基地」になつていくということ。この「発信」に人が集まって来れば、

宿泊施設、交通機関、おみやげ産業などにも潤いを与えます。「文化」という情報が、地域経済の活性化に役立つた好例と言えます。

中央からの情報を受けただけでなく、その気になれば色々な形で、地方からも情報を発信出来るのです。

## 「開発」は手段 目的は「人づくり」

林政総合研究所

理事 森 巖夫氏

▼今ほど地方が苦しい時はない。生き生きとしたムラもあるし、「死に体」のムラもある。両極化が進んでいると言つてよいだろう。

▼成功しているところは、どこも同じで、

①立地条件に恵まれない  
②グチを出さず、自分の利

を生かしたまちづくりをすすめている。

③地域をアレンジする有能な人材がいる。

④「人」づくりに成功している。という条件を満たしている所と言えます。

▼結局、イベントや産物の開発は手段であり、目的は「人」づくりにあると言えますが、「人」づくりほど「言」うは易く、行は難いものはありません。「人」づくりに王道はないが、今ほど「地域づくりが面白い」時はないと言えるでしょう。

町では地域づくりや生涯学習のための研修会・講演会を、今後も数多く予定しています。それらの事業が「生き生きした活力ある町づくり」に向かつて実のあるものになるためにも、町民の皆さんが誘い合つて参加されることを期待します。なお、地域づくり研修会や講演会、生涯学習の内容などについて、ご意見・ご要望をお寄せいただければ幸いです。

# ヤマメの学校で 入学式

## 送橋の子どもたちが 3,500匹を放流



「ヤマメの学校」はここかなあ



「川でヤマメの泳ぐ姿を見たことあるかな」「ハイ！」と元気に手を挙げてくれたのは、送橋小学校の五十一人の子どもたち。今年も最上川第一漁業組合のヤマメの放流事業が五月十五日、同校の子どもたちの手によって行なわれました。はじめは同組合副組合長の遠藤四郎さんから、ヤマメの生態などの話を聞いた後、体長四センチほどのヤマメの稚魚十キロ、約三、五〇〇匹を、教室から持ち

寄った図工の筆洗に分けてもらい、「みんな仲よく、元気に泳いでね」と、同校そばの送橋川の澄んだ流れに放しました。同組合ではこの日、朝日川や自然観察センターのある一ツ沢の溪流にも、合わせて百二十キロを放流。梅雨期の増水や夏の濁水にも負けず、流れを上るヤマメの姿を、ぜひ子どもたちに観察してもらいたいと、同校にノートと贈物も合わせ行なわれました。



## 和合小で 地域こぞつての運動会

スポーツ日和の五月十七日(日)、和合小学校(生徒数七五人)では、町内の学校のトップを切って、春の大運動会が行なわれました。リンゴ生産農家がほとんどの同地区では、秋はリンゴの収穫に大忙しとあつて、例年、リンゴの花摘みが終わるこの時期に開催しているものです。

日よけのテントが張られた特別席には、地区のお年寄りたちも招待され、紅白の応援合戦の中、親と子の二人三脚リレーなど、楽しい競技展開に拍手と声援が送られていました。この運動会が終わると、同地区では本格的なリンゴの摘果作業が始まるのです。



## ナイター野球開幕!

### 夕涼みをかね 御声援を

町野球連盟主催のナイター野球大会が、五月十九日から開幕。町内二十三の野球チームが、昨年の試合成績順の、四ブロックに分かれてのリーグ戦。ナトリウム灯の光線の中、職場から真っ直ぐかけつけた選手らは、上位ブロック入りをめざし、白球を追いかけています。期間八月上旬まで。



前が見えなくても親子の息はぴったり



## これ、読めますか？ 「ガソリンポンプコ」

これは、町内に初めてガソリンエンジン付きの消防ポンプが導入された頃を物語る珍しい表札です。

昭和26年に、長沼、一ツ沢部落とともに初めて今平地区にも設置されたもの。当時としてはまだ珍しく、画期的な設備で、対岸の佐野原地区の火災へ渡し舟につんで駆け付け、たいへん活躍したそうです。また、ガソリンを当時は漢字で表していたようで、大舟木の故・佐藤健治さんに書いていただいたものだそうです。(現区長さんより)  
一昨年にポンプ庫を新築しましたが、そのまま取り付けて、区の歴史を大切にしています。

(小松 敬広報委員)

## 今日の顔

助産と母子保健指導の功績で  
厚生大臣賞にかがやく



沼向 貞神りんさん (64歳)

満州での助産婦活動を経て、終戦による引き揚げで故郷に帰ってから現在まで、助産と母子保健活動に命を賭けてきた貞神さん。

先月の十九日、日本助産婦会創立六十周年記念の式場で厚生大臣賞を受賞。ひ

「昭和二十二年に開業し、昭和三十二年間は、遠い夜の雪道を急ぎ出産させたり、未熟児を生かすのに必死だった。つらかった。思い出をたどる貞神さんは、現在も県助産婦会の教育委員長の要職にある。これまでも多くの表彰を受け、新生児の保健、育児指導、食生活改善、公衆衛生等での活躍で今後も期待される。若くして夫を失い、懸命に生き抜いてきたりん女の旅はつづく。

永かりし 林橋の旅に

花咲きて

(広報委員長 鈴木久夫)

## 夏山シーズン到来！

### 朝日登山道を整備 朝日鉱泉に赤電話も開通

男性的な朝日連峰を愛する都会の登山者も、年間約二万人と年々増えています。これまで山岳遭難や山菜採りでの事故などの通報網が、遠距離のため未整備でしたが、町や観光協会、登山者などの多くの声でNTT(日本電信電話)に通じ、このたび朝日鉱泉にある西沢信雄さん経営の「ナチュラリストの家」内に無線の公衆電話が設置。その開通式が五月二十七日、小林町長や伊藤寒河江電話局



ここは「出会い」のつり橋(作業風景)

次長らの手によって行なわれ、役場との交信を確認しました。

また、今月二十一日の

朝日連峰夏山開きを前に、山岳会のメンバーや事務局の企画課職員らの手で役場と交信の板のかけかえ作業も行なわれ、夏山シーズンに向けた登山道などの整備が進められました。

なお、公衆電話の番号は六六七―三三〇九です。



「はい、リンゴとワインの町」『町長はいるかね?』

# 剣道少年団の 活躍を祈ります

白田 元 さん

《東京都世田谷区深沢/日本体育大学剣道部第一合宿所》

## へるさと の便利

▶ 54 ◀

私は家に電話をするたびに、各種剣道大会や遠征での試合結果を必ず聞きます。そして、わが町の剣道スポーツ少年団や出身者が、各種大会で活躍されていることを聞き、大変嬉しく思っています。また、私がスポーツ少年団に入団していた頃は、大谷と送橋の二つの少年団しかありませんでしたが、現在は宮宿にもでき大変素晴らしいことだと思います。

私は今年「はたち」になり、ふるさとの成人式への案内を、地元の同級生からいただいたのですが、ちょうどこちらでの剣道大会と重なり出席できませんでした。でも、大学が休みになるたびに家に帰っては、大谷の体育館でいつも子どもたちと一緒に古い古きせていただいています。

そこで、いつもがっかりさせられることがあります。それは、だんだん子どもたちの剣道への興味がうすれてきているように感じることです。あまりにも各種大会があり過ぎるため、どう

しても「試合に勝つための練習」になったり、一定の限られた子どもを中心に練習せざるを得ず、ほかの子どもたちの指導が充分に出来ないのではないかと思っています。

また、日中の練習は子どもたちだけの慣れ合いの練習になってしまい、不得意な子どもはますます練習の成果が上がりません。それを夜の練習でカバーしようとしても、練習には限られた先生しか来られず、若い先輩たちもあまり来られないようなので、指導者数が足りず内容も試合に追われた練習となります。とうてい子ども一人ひとりには手がまわりません。

ですから、町の方で剣道のできる体育指導員を採用し、コーチというかたちで日中の子どもたちの指導をしていただければ、各自に合った指導ができて、子どもたちは今までできなかった技が容易にできることを知り、興味を示すと思います。また、そのことよって練習が楽しくなり活気が

## 新記録ぞくぞく

五月二十九日、宮宿小グラウンドでの小学校陸上大会（六年生と集合教育校五年生出場）では、新記録が続出。同大会での歴代記録を一新し、大会関係者を驚かせました。上位三位までの成績は次のとおりです。

- ▼100メートル【女子】
- ①鈴木志保（宮小）14秒6（新）
- ②志藤麻美（同）15秒1
- ③遠藤厚子（大小）15秒5
- 【男子】
- ①鈴木和志（大小）14秒2（新）
- ②柴田 明（宮小）14秒4（新）
- ③長岡清彦（西小）14秒9
- ▼70メートルハードル【女子】



もう気持はゴールへ（100m競走のスタート風景）

## 歴代記録を一新

● 町小学校陸上大会

- ①志藤麻美（宮小）12秒1（新）
- ②遠藤厚子（大小）12秒3（新）
- ③多田佐代利（宮小）12秒8
- 【男子】
- ①長岡清彦（西小）11秒4（新）
- ②志藤 淳（大小）12秒1
- ③柴田 明（宮小）12秒3

- ▼走り幅とび【女子】
- ①鈴木志保（宮小）403cm（新）
- ②多田詩穂（西小）367cm（新）
- ③佐久間知子（大小）356cm（新）
- 【男子】
- ①鈴木和志（大小）416cm（新）
- ②佐竹秀文（西小）384cm（新）
- ③小松 学（大舟木）361cm

- ▼持久走【女子】 800メートル
- ①志藤麻美（宮小）2分43秒7
- ②多田佐代利（同）2分47秒0
- ③遠藤厚子（大小）2分49秒1
- 【男子】 1,000メートル
- ①柴田 明（宮小）3分18秒2（新）
- ②佐竹裕樹（西小）3分25秒7
- ③佐藤 努（大小）3分26秒7

- ▼400メートルリレー【女子】
- ①宮宿小（新）
- ②大谷小（新）
- ③西五百川小【男子】
- ①西五百川小（新）
- ②大谷小（新）
- ③宮宿小



議員定数問題に関しての  
ましたが、それ  
について、匿名で申し訳あ  
りませんが、ちよつと感じ  
るところがあつて筆を取り  
ました。

「広報あさひ」を編集して  
下さる委員会の皆様、  
本当に大変な作業でしょう  
が、町民誰もが、大なり小  
の関心を持ちつつ拝読させ  
てもらつてると思っています。  
さて、この度の「広報あ  
さひ」に「投稿の際には、  
ぜひお名前  
を」とありま

### 匿名は、なぜいけないのでしょうか？

正さき、それは理解できま  
す。しかしいろいろな事につ  
いて言いたいことをその人  
の本音で語るには、ある程  
度の地位にある人や実力の  
ある人ならばわかりますが、  
私のような凡人には、匿名  
でなければ美辞麗句で飾つ  
てしまい、本音などはな

な言い出せないものです。  
朝日町のこれからのこと  
を考えるに、あるテーマを  
一つ出し、それについての  
いろいろな事を、言いたい放  
題、匿名でやってみてはい  
かがでしょうか。いろんな  
考えが出ると思っています。そ  
うすれば一つ  
の活路が見い  
出されるよう  
な気がします。そんな結果  
になれば、人はあの件につ  
いては俺が、私が出した考  
えなのなどと自負します。  
そして十年後、誰もが匿名  
などでなく投稿できるよう  
な、そんな町にしたいもの  
です。

●一町民（匿名希望）  
「投稿にはぜひお名前を」  
という広報委員会から  
のお願いを、先月号に載せ  
ましたが、「匿名はなぜい  
けないのでしょうか？」とい  
う上掲の投稿文を頂きました。  
お願いの真意を理解い  
ただけなかつたものと思  
い、重ねてお願いの  
記事を掲載し、お答え  
といたします。

頃より、広報にはいろんな  
投稿があり、人それぞれ、  
いろんな考えがあるものだ  
と思いつつ読んでいます。  
投稿の際の匿名に關して  
は、なぜいけないんでしょ  
うか？  
「公」としての品位、公

「公」としての品位、公  
正さき——については  
理解していただいたよ  
うですが、商業紙や新  
聞でも住所、氏名、年  
齢、電話番号を明記す  
るようになっていま  
す。電話番号を明記す  
るようになっていま  
す。少くとも、住所、氏名  
は書いてもらいたいま  
す。広報へ掲載す  
る以上、委員会に責任  
が出てきますし連絡も  
必要の場合も出てきます。  
どうしても匿名にしてほ  
しいときは、その旨を書き  
添えて下さい。秘密は守り  
ますが必ず掲載になるとは  
限りません。単なる中傷と  
思われる内容とか、感情に  
偏する意見等は保留させて

「町民の声」  
欄に原稿をお寄せ頂き、う  
れしい限りですが、匿名な  
どでない形で人間の交流  
が拡がることを願って  
います。町民の善意や  
アイデアにあふれた  
「町民の声」の欄にし  
たいと思います。  
ぜひ、住所、氏名、  
年齢を書き添えて、は  
がきか封書で役場内広  
報委員会までお届け下  
さい。「広報あさひ」紙  
が更に内容の濃い多彩  
なものになるように、  
投稿文は六百字以内で  
お書き下さるようにお  
願いたします。

一つテーマをもと  
に、匿名で言い合うという  
提言は、多数の考えの傾向  
などをまとめるときはいい  
でしょうが、少なくとも自  
分のもの言いに責任を持つ  
ことが、町づくりの基本で  
はないかと考えているので  
す。

### ★プロフィール

- 昭42年2月生れ
- 寒河江高校から日体  
大体育学部に進学。  
武道学科剣道専攻3  
年。高校時代は剣道  
部長を務め、インター  
ハイ、国体で活躍。



出ると思います。  
さらに各種大  
会や山形の67国  
体での活躍は、  
地域の活性化に  
も役立つと思  
います。これは、  
ほかのスポーツ  
にも言えることではないで  
しょうか。

町のスポーツを活発にす  
るためにも、子どもたちが  
興味を持ち、スポーツが好  
きになるように、指導体制  
の充実を望みます。  
ふるさと朝日町の発展と  
剣道スポーツ少年団のます  
ますの御活躍をお祈りし、  
私の感じるままのお便りと  
します。

### アイデアにあふれた投稿を

#### ●朝日町広報委員会

「町民の声」  
欄に原稿をお寄せ頂き、う  
れしい限りですが、匿名な  
どでない形で人間の交流  
が拡がることを願って  
います。町民の善意や  
アイデアにあふれた  
「町民の声」の欄にし  
たいと思います。  
ぜひ、住所、氏名、  
年齢を書き添えて、は  
がきか封書で役場内広  
報委員会までお届け下  
さい。「広報あさひ」紙  
が更に内容の濃い多彩  
なものになるように、  
投稿文は六百字以内で  
お書き下さるようにお  
願いたします。



商工会

優良従業員40人を表彰

「コミュニケーションマーケット」設置へスタート

五月二十一日、朝日町商工会(大久保三津雄 会長、会員数 法人組織四二、個人経営三一〇)の総代会が、中央公民館で開かれま

した。消費志向も高品質化、脱大衆化の時代。円高などによる国内需要の落ち込みが

大きく影響し、設備投資などに向けられる融資斡旋金額も年々減少しているという事業報告がありました。



「これからも健康で働いてください」と会長より各受表彰者へ

同会では新規事業として、町民の憩いの広場ともなる「コミュニケーションマーケット」の設置へ向けた調査事業なども進め、さらにサードピスの向上と地元商品・製品の愛用運動を展開していくことにしています。

また、席上、永年勤続優良従業員の表彰式も行なわれ、大久保会長から四十名の受賞者に表彰状と記念品が手渡されました。受賞者は次のとおりです。

- 勤続25年表彰
  - 志藤 惣一 (鈴木製材所)
  - 白田 隆 (白田製材所)
  - 相座栄美子 (熊合メリヤス)
- 勤続20年表彰
  - 佐藤 富好 (白田製材所)
  - 鈴木ユキ子 (熊合メリヤス)
  - 佐藤 孝男 (志藤看板店)
  - 阿部 春雄 (武田建具店)
  - 佐藤 隆子 (小坂屋商店)
  - 佐竹 武志 (吉田タクシー)
  - 近衛 国男 (朝日ビニール)
  - 清野とし子 (アサヒ技研)

- 鈴木 芳男 (大東建設)
- 武田カツ子 (同 社)

- 勤続10年表彰
  - 細谷久仁雄 (アサヒ技研)
  - 細谷 忠治 (大東建設)
  - 長岡さだ彦 (村山建設)
  - 長岡由美子 (同 社)
  - 清水まする (小川電子)
  - 笹原 昌俊 (朝日相扶)
  - 阿部 清春 (同 社)
  - 海野 勇一 (サンライズ)
  - 相座 正喜 (同 社)
  - 向 秀哉 (同 社)
  - 長岡 純一 (同 社)
  - 畑 しげ (同 社)
  - 白田ミヨ子 (同 社)
  - 後藤きつ子 (同 社)
  - 白田 照江 (同 社)
  - 阿部せつ江 (同 社)
  - 長岡みき子 (同 社)
  - 志藤 昭子 (同 社)
  - 鈴木ひろ子 (同 社)
  - 樋口 正子 (同 社)
  - 阿部美枝子 (同 社)
  - 向 京子 (同 社)
  - 鈴木 幸作 (伊藤農機)
  - 清野美智子 (ヒグチ)
  - 鈴木 正治 (宮宿衛生社)
- 勤続5年表彰
  - 安藤すみえ (ヒグチ)
  - 後藤 裕子 (かわしま商店)

シソとワインの家庭料理

⑬ イチゴのワイン寒天

■材料

イチゴ	6ケ
寒天	1本
赤ワイン	大きさ 3-4杯
水	3カップ
砂糖	130g

■作りかた

- ① 寒天は使う30分前にもみ洗いし、ごみをとりにつけておく。
  - ② 分量の水を入れたなべに寒天を小さくちぎって入れ、火にかけて寒天を煮てときます。
  - ③ 寒天がとけたら砂糖を加え、火を止めてこします。
  - ④ 荒熱がとれたら赤ワインを加え、水でぬらしておいた流し器に3分の1くらい流し入れます。
  - ⑤ 少し固くなったら、中にへたをとったイチゴ6ケを均等に並べ、残りの寒天を流して固めます。
- \* 冷たくしてお召し上がりください。イチゴは小さめのものがよいかと思ひます。また、中に入れる果物によって、ワインの色などを変えて楽しんでみてはいかがでしょうか。



(広報委員 柴田泰子)

# 最上川にドラマチックな夏がやってきた!

激流

## 全国イカダ下り大会

■期日 7月26日(日)

午前10時スタート

■コース 雪谷から明鏡橋下まで、約8キロのタイムレース

■参加資格とチーム編成

16歳以上60歳までの水泳に自信のある健康な男女。

1チーム3名編成で55チーム募集(多数の場合は抽選)

■表彰 上位5位まで

優勝チームには記録証と賞金10万円他副賞多数

■参加費 一五、〇〇〇円

■申し込み 6月20日まで、役場企画課・大会事務局へ。

(六六七一―二二二)



## 古道をたずぬて

36

酒田さ行くさげ  
達者でろちゃ

ヨイトコラサノセー  
流行風邪などひかぬよに  
股大根の塩汁煮  
塩がしよはくて

食わんにえちや  
碁点早瀬やれ三ヶの瀬  
達者で下ったと頼むぞえ

あの娘いなけりや  
航海業りなど

すねがったちや  
山背風(やませ)よ

あきらめしやんせ

おれを恨むな 風恨め

あの娘だめだ

なほ取つても

たらんこ たん

若くゑな舟頭の唄声は  
朝霧をひて川瀬にひびく  
初夏の蘆は青葉の木陰を  
ぬつて、豊かな田の面に流  
れてくる。

最上川舟運は、つづ

から開かれたのだろうか。

昭和六年、東田川郡藤島

町の畑の中から、古代に使

用された丸木舟の一部が発

見された。続いて昭和十一

年七月、その全部が発掘さ

れて、現在は藤島町役場の

待合室に展示されている。

おそらく五百川郷の川べり

でも、集落のできた大昔か

ら丸木舟が利用されたと思

えられる。川魚を採りに、

また対岸の山野に狩りにて

## 水の古道 最上川③ 母なる川 最上川③

### 最上川の舟運

るため、最上川を丸木舟で  
渡ったと推定される。

また、今から約一千年前、  
平安時代の延喜年間に出た

『古今和歌集』に

「最上川  
のほれば  
下る

稲舟の  
いなに

あらず

この

月ばかり」

の歌がのっ

ている。

平安の昔、

すでに最上

川が京都に紹介されていた

のである。

さて、最上川にはどんな

舟が走っていたのだろうか。

江戸時代の中期から明治

時代まで、多く利用された

舟は小鵜飼舟である。下流

一帯は鵜舟を主として使

用された。最上川の舟運研

究家で知られる山形市旅籠

町在住の柴田謙吾氏(栗木

沢出身・75歳)は、収集した

多くの資料を手にしながら

「川上の米沢、長井付近で

は小舟も利用されただろう

が小鵜飼舟が主であり、こ

の舟は長さ約十間、巾約六

尺、高さは三尺でした」と

語る。



県立博物館に展示されている小鵜飼舟

同氏は最上川べりに生ま  
れ、少年の頃から川を愛し  
俳画に親しむとともに、生  
業のかたわら川舟の研究に  
三十余年。その間、最上川  
沿いの村々の古老や筏師、  
元舟頭、舟大工を訪ね歩き  
果ては古道具屋まで足をの  
びて集めた資料をもとに  
昭和四十八年、小鵜飼舟を  
十分の一の模型に見事復元  
した。長さ二尺、幅六〇センチ  
の帆かけ舟である。

現在、その模型は山形市  
の県立博物館に、舟旅での  
生活を物語る舟だんすにと  
もに展示されている。

(つづく)

(広報委員 長岡幸助)



最上川のロマンを語る柴田さん



＊あつあつせいで

62年5月1日～5月31日届出

- 常盤 河北町
- 阿部 利雄 松浦 照美
- 東京都 長沼
- 廣瀬 正一 齋藤ひとみ

(婚姻届)

- 松程 上山
- 向 利和 中川 由美
- 八ッ沼 立木
- 佐竹 直樹 阿部由美子
- 山辺町 太郎三
- 樋口 廣 後藤 裕子
- 前田沢 太郎一
- 布施 政彦 長岡美智子
- 下芦沢 夏草
- 岡崎 衛 若月 晴美
- 松程 鶴岡市
- 鈴木 義昭 菅原 尚子
- 常盤 栗木沢
- 加藤 修一 五十嵐明美

＊すこやかで



ほやほや新婚さん

長沼 斎藤 正一さん  
ひとみさん

「残雪の中、いち早く芽吹くブナの生命力には感動しますねえ」樹木や野鳥の話になると目を輝かせ、話題の尽きないお二人。正一さんは東京生まれ。大学で林学を学び宮林署に勤務し、昭和五十八年、西五百川担当区に赴任。町内の子どもたちの自然観察教室で、世話係をしていたひとみさんと知り合い、朝日の自然?のとりこになった彼は定住を決定し、果職員の採用試験に挑戦。見事合格し、この春、西村山地方事務所林務課に配属。「いつか我が子と一緒に大朝日岳に登りたい」と語るお二人は、アウトドア派の爽やかなカップルです。(広報委員 白田光郎)

＊やすひかに

(死亡届)

- | 区名  | 出生者氏名 | 父名 |
|-----|-------|----|
| 大谷三 | 白田 和也 | 実  |
| 西船渡 | 大類 淳子 | 秀憲 |
| 新宿  | 今井友香子 | 順一 |
| 八ッ沼 | 登坂 尚高 | 高典 |
| 小原  | 鈴木恵理子 | 好廣 |
| 新宿  | 山賀 亮介 | 明  |
- 
- | 区名  | 死亡者氏名  | 世帯主 |
|-----|--------|-----|
| 栗木沢 | 遠藤オヤエ  | 昭三  |
| 大谷六 | 小野 正美  | 辰雄  |
| 大谷二 | 佐々木はるよ | 昭   |
| 立木  | 児珠 マサ  | 孝順  |
| 大谷六 | 川村 儀助  | ナツ  |
| 川通  | 志藤 宗一  | 滋男  |
| 元町  | 石黒 てる  | 藤次郎 |
| 要町  | 今井 彦六  | 信一  |
| 小原  | 菅井 隆吉  | 隆一  |
| 白倉  | 阿部 修   | 恵治  |

＊人口と世帯数

(5月31日現在)

- ▽人 □ 一〇、九八八人
- 男 五、四六一人
- 女 五、五二七人
- ▽世帯数 二、六二一世帯

訂正とあわび

広報あさひ五月号の七ページ、退職議員への自治労者表彰の御紹介の中で、前町議会議員である大暮山の鈴木長十郎氏のお名

年金積立金は

広く身近なところに  
役立てられています

皆さんの加入する国民年金の保険料積立金は、公共事業への融資などに役立てられています。このたび、西村山広域行政事務組合では二千九百十萬円の還元融資を受けて、寒河江地区クリーンセンターに余剰汚泥乾燥機とし尿収集車三台を新設・購入して、施設の整備をはかり、作業効率を高めたがらサービスの向上に努めています。



前が掲載になっておりませんでした。深くお詫言ひ申し上げ、改めて御紹介いたします。同氏は四期十六年の長きにわたり、町の発展に尽くされております。

世帯

▼木々たちが一斉に緑の手を伸ばし腕を振って夏の空に広げている。青葉若葉の頃は躍動の季節でもある。わが朝日町でも春から結婚式が相次ぎ、旅立ちの新鮮な風を運んでくれた。

▼結婚式に参列した都会のかたの祝辞は、口を合わせたように「このすばらしい緑したたる自然に恵まれた」と、朝日町の自然をたたえるコトバを用いていたが、内心うれしく感じた。心の奥底にある「あこがれ」や「ねがい」が、その対象と出会ったとき、言動は感動を伴って湧き出るものである。朝日町の自然への賛辞であると、あの祝辞を素直に受けとりた。

▼自然に囲まれたわがふるさとの風光も、見なれてしまうと感動がなくなるものか。見直しが必要のようである。たとえば、暖日山の四季の風情などは格別で、風切山を抱いて臥す姿は母が子に乳を与えている姿に似ていて、この二山を添乳(そでち)山と名づけたいほど趣がある。

▼この暖日山の背後にそびえる朝日連峰は、朝日射す東方に向かってわが朝日町を抱きかかえ見守ってくれているようにさえ思える。自然を見直す眼を結婚式での祝辞からもらった。(杉)